

「地震予知」セミナー(日本地震予知学会主催)
開催のご案内(日程変更後)

2011年の東北大震災から5年が経過し、地震や津波に対する防災や「地震予知」の重要性に対する関心が薄れてきています。

さて、私たちは2014年に一般社団法人「日本地震予知学会」を立ち上げ、地震の先行現象を集中的に研究し、地震の短期予知を目指しています。地震の短期予知とは、地震の数日前から数週間前に「いつ、どこで、どの程度(マグニチュード)」の地震が起こるかを予知することです。従来の地震学での中期予測「南関東でここ30年間にM7クラスの地震の起こる確率は70%」とは、本質的に異なるもので、地震予知学で取り扱う短期予知のみが人命や財産を救うものです。学会として「地震予知」の重要性の啓発活動を続けています。

電離層の擾乱を始めいろいろな電磁気現象と地震との因果関係が確立しつつあるなど、地震予知の最前線を国会議員の皆様にも知っていただき、国防の情報としてその重要性をご理解いただき、国政に生かしていただきたく存じます。

ご出席のお返事は5月11日(水)までに、FAXもしくはE-mailにてお送りください。お返事をお待ちしております。尚、会費は無料です。

日本地震予知学会代表理事(会長)
早川 正士

記

日時： 2016年5月18日(水) 午後14時30分～16時30分(2時間)

場所： 衆議院第1議員会館第1特別会議室(地下1階)

講演： (1)会長挨拶(10分)

(2)早川正士(会長)

「地震予知研究の最前線(日本地震予知学会の目指すもの。地震学との違い)」(40分)

(3)長尾年恭(副会長)

「地震予知研究の世界の動向」(40分)

(4)総合討論(質疑応答)

主催：日本地震予知学会 ホームページ <http://www.eqpsj.jp/>

共催：「二日前の地震予知が日本を救う」会(会長 加藤尚彦)

日本地震予知学会事務局(担当：山口) FAX：03-5579-8470 E-mail：office@eqpsj.jp

「地震予知」セミナーに出席します。

御芳名：

御所属：

御連絡先：